

令和5年度九州大学大学院法学府  
修士課程入学試験問題（秋季）

**刑事政策**

**問1** 第208回国会で可決成立した「刑法等の一部を改正する法律」は、「刑法」および「刑事収容施設及び被収容者等の処遇に関する法律」における自由刑に関する制度の改正を行っている。これによる自由刑の改革について、以下の問い合わせにすべて答えよ。

- (1) この自由刑に関する改革は、どのように法制度を変えるものか。「懲役」、「禁錮」、「拘留」、「矯正処遇」という語を必ず用いて、説明せよ。
- (2) この自由刑に関する改革の背景にはどのような問題があるか。説明せよ。
- (3) この自由刑に関する改革には、どのような意義と課題があるか。論ぜよ。

**問2** 第204回国会で可決成立した「少年法等の一部を改正する法律」は、少年法に「特定少年」の制度を新たに創設している。これについて、以下の問い合わせにすべて答えよ。

- (1) この「特定少年」の制度は、どのようなものか。説明せよ。
- (2) この「特定少年」の制度創設の背景にはどのような問題があるか。説明せよ。
- (3) この「特定少年」の制度には、どのような意義と課題があるか。論ぜよ。